

多摩市基本計画市民ワークショップ報告書

実施結果報告書

2023年5月

目次

1. 市民ワークショップ開催概要	3
2. 市民意見	9
3. 参加者アンケートの結果	37
4. 当日の様子	43

1. 市民ワークショップ開催概要

1. 市民ワークショップ開催概要

1-1. 開催の背景と目的

開催の背景

- 本市では、現行の総合計画である「多摩市総合計画(第五次)」が令和5年度に終期を迎えるにあたり、次期総合計画の策定を進めています。
- 総合計画の策定においては、下記2点が重要であることを踏まえ、「多摩市総合計画市民ワークショップ」を開催しました。
 1. まちづくり上の課題を「市民目線」で幅広く洗い出す
 2. 政策形成プロセスの公正性・透明性を担保する

開催の目的

- 6つの政策分野(”子ども、学校教育””健康、医療、介護、福祉””市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化””産業振興、観光、都市農業””都市づくり、交通、防災、防犯、住宅””環境”)について、課題等に対する具体的な施策のアイデアや施策展開に当たった役割分担等について意見を収集し、基本計画の政策・施策に反映する
- 特に、今回取り組みのために市民ができることは、基本計画に市民の役割として掲載を予定しています。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-2. 開催概要

多摩市総合計画市民ワークショップの開催概要及び意見募集の実施概要

■ 当日の開催概要は下表のとおりです。

項目	概要		
開催日	令和5年5月13日(土)	令和5年5月14日(日)	令和5年5月21日(日)
開催時間	10:00～12:30	10:00～12:30	14:00～16:30
開催場所	永山公民館	関戸公民館	パルテノン多摩
対象者の 選定基準	次の募集方法による市内在住の15歳以上の方(1名につき1名のお付きの方) ・住民基本台帳から無作為抽出で選定された3,000名のうち参加を希望する方 ・多摩市総合計画基本構想ワークショップ参加者のうち参加を希望する方 ・令和4年度わがまち講座参加者のうち参加を希望する方		
参加者数 (アンケート 受領数)	30名	20名	23名
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 自分の身の周りであった経験や思いを踏まえながら、6つの分野ごとに、「多摩市の魅力や課題」「今後の取組」に関するテーマについて話し合い、その後に「わたしたちにできること」について話し合う。・ 1ラウンド15～25分、合計3ラウンドで、グループごとに分かれた参加者が互いに交流できるようにする。・ 各ラウンドごとに代表チームが意見発表し、最後に活動の成果を「グラフィックレコーディング」でとりまとめ、全体共有を行う。		

1. 市民ワークショップ開催概要

1-3. 実施方法

ワークショップ方法

- 多摩市総合計画市民ワークショップは、3~4人ごとの小グループに分かれたワークショップ形式で開催しました。ワークショップ形式では、話し合いの場において、小グループに分け、参加者がグループ内で知識や考えを共有することで、多様な意見の創出が期待される手法です。

特徴

概要

効果

①

3~4人の小グループに分かれる



- 幅広い年代の住民が参加した。
- グループの話し合いでは、普段の生活で接点の少ない年代の参加者とも、意見を交換する。

普段接点のない他者との交流により、多様なアイデアを創出しやすくなる。

②

思いついたことを自由に記載

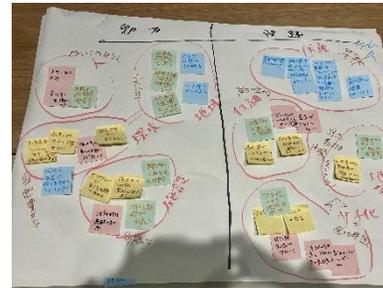


- 模造紙を用意し、会話をしながら自由にアイデアを記載する(発表しないため綺麗に書く必要はない)。
- 出されたアイデアに対して、グループ内で話し合い、既に書かれている内容を確認しながら、自分のアイデアを追記していく。

他者の意見を理解できると共に、新しい意見が創出しやすくなる。

③

付箋による意見の整理



- 付箋に書かれたアイデアの中で、似たアイデアどうしをグループ分けし、模造紙上で整理する。
- 整理されたアイデアを基に、グループ内で意見交換を行うことで、より高度な話し合いを行うことができる。

意見を整理することで、より高度な議論を行うことができる。

④

グループごとに全体発表



- グループで話し合いを行った結果を、全体発表を行って他のグループと共有する。
- 全体とアイデアを共有することで、他のグループの話し合いで出された多様な意見を知ることができる。

参加者全員で意見を共有することで、自グループでは出なかったアイデアに気が付くことができる。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-4. 実施方法

ワークショップテーマ

- はじめの説明を踏まえ、各テーブルの分野に基づき、3ラウンドにわたって、異なるテーマについて話し合いました。
- 第1,2ラウンドで「多摩市の魅力と課題」や「より良くするための今後の取組」について話し合い、出た意見を付箋に書いて模造紙に貼り付け、またに体験をグルーピングしました。
- 第3ラウンドで今後の取組を3つ設定し、それに対して「市民ができること」「行政ができること」を書き出しました。
- 各ラウンドの最後に、1分野1グループずつ発表を行い、その結果をグラフィックレコードにまとめ、最後に共有しました。

「多摩市基本計画市民ワークショップ」当日の流れ

第1ラウンド	「魅力」 「課題」	多摩市の魅力や他のまちにはない多摩市らしさは、どのようなものがあるでしょうか？ およそ10年後を見据えて、多摩市で住み続けるために心配なことは何でしょうか？
第2ラウンド	「今後の 取組」	より良い将来に向けて、これから取り組むべきことは何でしょうか？
第3ラウンド	「わたしたち にできる こと」	今後の取組のために、わたしたちにできることは何でしょうか？
グラフィック レコードの共有	まとめ	1日の議論の内容について、1つの模造紙にグラフィックを用いて取りまとめました。

1. 市民ワークショップ開催概要

1-4. 当日のスケジュール

全体スケジュール

時間		項目	内容	担当
0:00～	5分	開会の挨拶	参加者への謝辞、開催の挨拶	市長
0:05～	10分	本日の趣旨・市の現況説明	総合計画策定、市の財政及び人口の状況についてについて説明	企画課長
0:15～	10分	市の主な取組・ワークショップ概要説明	市の取組・ワークショップの趣旨説明	企画課長
0:25～	5分	自己紹介	グループの中で自己紹介	参加者
0:30～	30分	話し合い(第1ラウンド)	テーマに沿った話し合い、4グループの発表	参加者
1:00～	5分	休憩	休憩	—
1:05～	30分	話し合い(第2ラウンド)	テーマに沿った話し合い、4グループの発表	参加者
1:35～	30分	話し合い(第3ラウンド)	テーマに沿った話し合い、4グループの発表	参加者
2:05～	20分	グラフィックレコードの共有	グラフィックレコード結果の紹介、感想を書いた付箋の貼り付け	参加者
2:25～	5分	諸連絡・アンケート告知	諸連絡・アンケート告知	企画課長

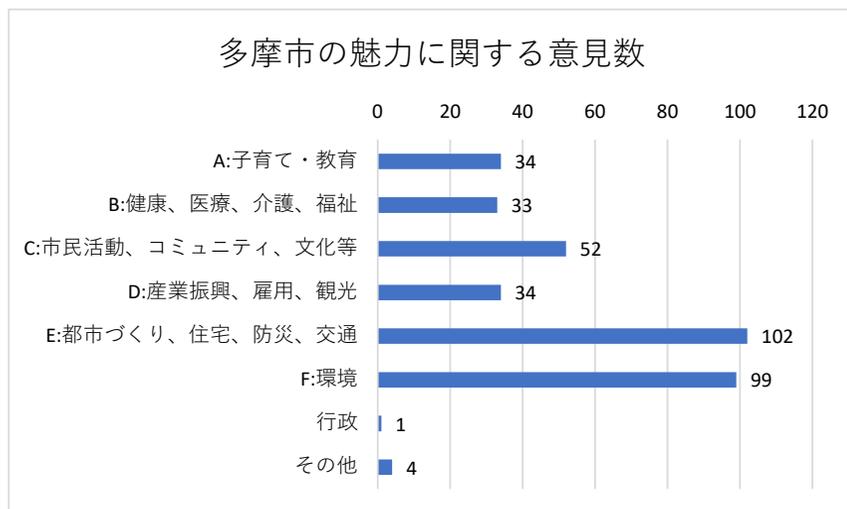
2. 市民意見

2. 市民意見

2-1. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド:「魅力」「課題」【魅力の全体概要】

- 目的:
 - ・ 各テーブルの分野に関して、生活上の様々な要素について、市民が“魅力がある”と感じているポイントを抽出すること
 - ・ 今後、魅力を伸ばすために取り組んでいくべき項目の候補を設定する
- 実施方法:
 - ・ 各自が“多摩市の魅力”と思うポイントを付箋に書き出し、各グループ内で発表しながら意見を共有しました
 - ・ 付箋に書いた後、各グループごとに書き出した“多摩市の魅力”を似た要素同士を整理して、グループ化しました
- ワーク結果(概要):
 - ・ 3回のワークショップを通して、計359件の意見が出されました
 - ・ 出された意見の内訳として、「都市・安全」分野に関する意見がもっとも多く、続いて「環境」分野に関する意見が多くなっています
 - ・ これは「都市・安全」分野の範囲が広いことと、「環境」分野の公園や自然の多さが分野横断的に意見が出ていたためです。



●参考:当初想定 of 各分野のテーブル数・予定人数

分野	予定卓数	予定人数
A:子ども、学校教育	4	17
B:健康、医療、介護、福祉	4	18
C:市民活動、コミュニティ、文化等	4	19
D:産業振興、観光、都市農業	4	17
E:都市づくり、交通、防災、防犯、住宅	4	18
F:環境	2	9

2. 市民意見

2-1. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド: 目指す姿ごとの魅力

A: 子ども、学校教育

施策	主な意見
教育 (15件)	大学が多い(2件)
	水泳で民間プールを使ってる(2件)
	給食がおいしい(2件)
子育て (19件)	子育て支援充実(3件)
	子育てしやすい(2件)
	学童保育が優しい(2件)

C: 市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化

施策	主な意見
市民活動・コミュニティ (20件)	人とのつながりがある(4件)
	市民団体が多い(3件)
	コミュニティーセンターが良い(2件)
文化・スポーツ・交流 (32件)	イベント多い(13件)
	サークル活動が盛ん(3件)
	運動施設が多い(2件)

B: 健康、医療、介護、福祉

施策	主な意見
健康・医療 (15件)	大きな病院がある(5件)
	病院が多い(4件)
	健康意識が高い(3件)
高齢者福祉 (13件)	高齢者が元気(8件)
	高齢者支援が充実(2件)
地域福祉 (4件)	集まる場所がある(2件)

D: 産業振興、観光、都市農業

施策	主な意見
産業 (15件)	大企業がある(6件)
	デパートがある(2件)
観光 (13件)	サンリオピューロランドがある(7件)
	アニメの舞台がある(3件)
	歴史がある(3件)
雇用 (2件)	人材が多い(2件)

2. 市民意見

2-1. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド: 目指す姿ごとの魅力

E: 都市づくり、交通、防災、防犯、住宅

施策	主な意見
都市づくり (11件)	整った町である(2件)
	ポテンシャルが高い(2件)
公共施設 (15件)	図書館が多い(5件)
	公共施設が充実している(2件)
交通・道路 (55件)	歩車分離がされている(8件)
	鉄道路線が多い(7件)
	バス路線が充実(6件)
	都心へのアクセスが良い(4件)
	道が広い(3件)
住宅 (13件)	家賃が安い(1件)
	団地が多い(1件)
防災 (8件)	地盤がよい(3件)
防犯 (7件)	治安がいい(2件)

F: 環境

施策	主な意見
自然環境・都市環境 (95件)	公園が多い(22件)
	緑が多い(19件)
	川が近い・整備されている(10件)
	自然が多い(8件)
	遊歩道が整備されている(8件)
資源 (4件)	野生生物が豊富(5件)
	ごみの分別が熱心(1件)

2. 市民意見

2-2. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド:「魅力」「課題」【課題の全体概要】

■ 目的:

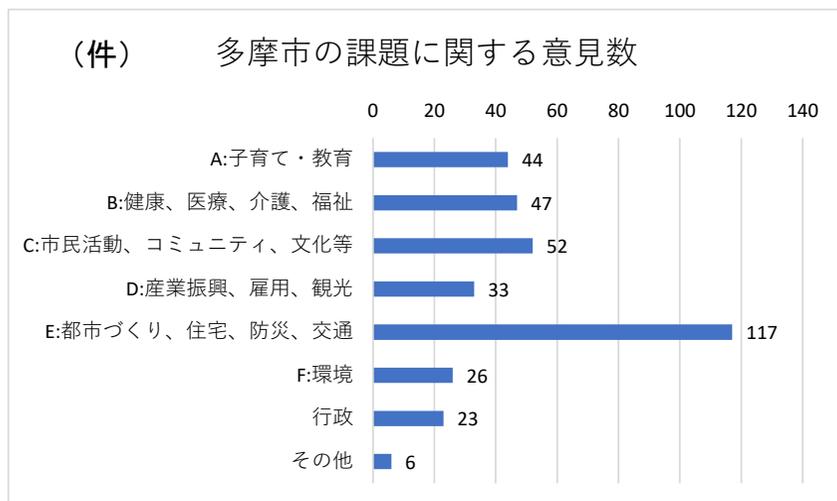
- ・ 計画策定において、各分野で市民が課題と考えているポイントを把握する
- ・ 今後、課題を解決するために取り組んでいくべき項目の候補を設定する

■ 実施方法:

- ・ 各自が“多摩市の課題”と思うポイントを付箋に書き出し、各グループ内で発表しながら意見を共有しました
- ・ 付箋に書いた後、各グループごとに書き出した“多摩市の課題”を似た要素同士を整理して、グループ化しました

■ ワーク結果(概要):

- ・ 3回のワークショップを通して、計348件の意見が出されました
- ・ 意見の内訳として、「都市・安全」分野に関する意見がもっとも多く、災害への不安、施設老朽化、市内・近隣との交通などが課題として挙げられていました。



2. 市民意見

2-1. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド: 目指す姿ごとの課題

A: 子ども、学校教育

施策	主な意見
教育 (25件)	DX等への対応の必要(4件)
	不登校の増加(2件)
	教員の負担増(2件)
子育て (19件)	少子化が進んでいる(9件)
	学童を増やしてほしい(2件)

B: 健康、医療、介護、福祉

施策	主な意見
健康・医療 (20件)	医療費助成の必要(2件)
	受動喫煙の懸念(2件)
高齢者福祉 (8件)	高齢化が進んでいる(7件)
地域福祉 (13件)	世代の偏りの拡大(2件)
障がい者福祉 (7件)	バリアフリー化が不足(3件)

C: 市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化

施策	主な意見
市民活動・コ ミュニティ (32件)	少子化による繋がりの減少(4件)
	町会が少ない(3件)
	ボランティアが少ない(2件)
文化・スポー ツ・交流 (20件)	世代間交流が少ない(4件)
	孤独・孤立の増加(2件)

D: 産業振興、観光、都市農業

施策	主な意見
産業 (15件)	企業の撤退の懸念(2件)
	空き店舗の増加(2件)
観光 (13件)	多摩市に来るきっかけない(1件)
	PRが不足している(1件)
雇用 (6件)	賃金が安い(2件)
	雇用先が限られる(2件)

2. 市民意見

2-1. 多摩の魅力・課題に関する意見

第1ラウンド: 目指す姿ごとの課題

E: 都市づくり、交通、防災、防犯、住宅

施策	主な意見
都市づくり (20件)	地域間の分断(3件)
	インフラの老朽化(3件)
公共施設 (21件)	施設の老朽化(5件)
	学校の統廃合(4件)
交通・道路 (40件)	坂・階段が多い(4件)
	道路の老朽化・維持管理が必要(4件)
	リニアの活用が必要(2件)
	モノレールの活用が必要(2件)
	都心まで遠い(2件)
住宅 (10件)	団地の老朽化(4件)
防災 (13件)	水害の不安(4件)
防犯 (13件)	暗い所がある(2件)

F: 環境

施策	主な意見
自然環境・都市環境 (22件)	緑の維持管理が必要(3件)
	公園の維持管理が必要(2件)
	鳥のフン害がある(2件)
資源 (4件)	資源活用が必要(1件)

行政

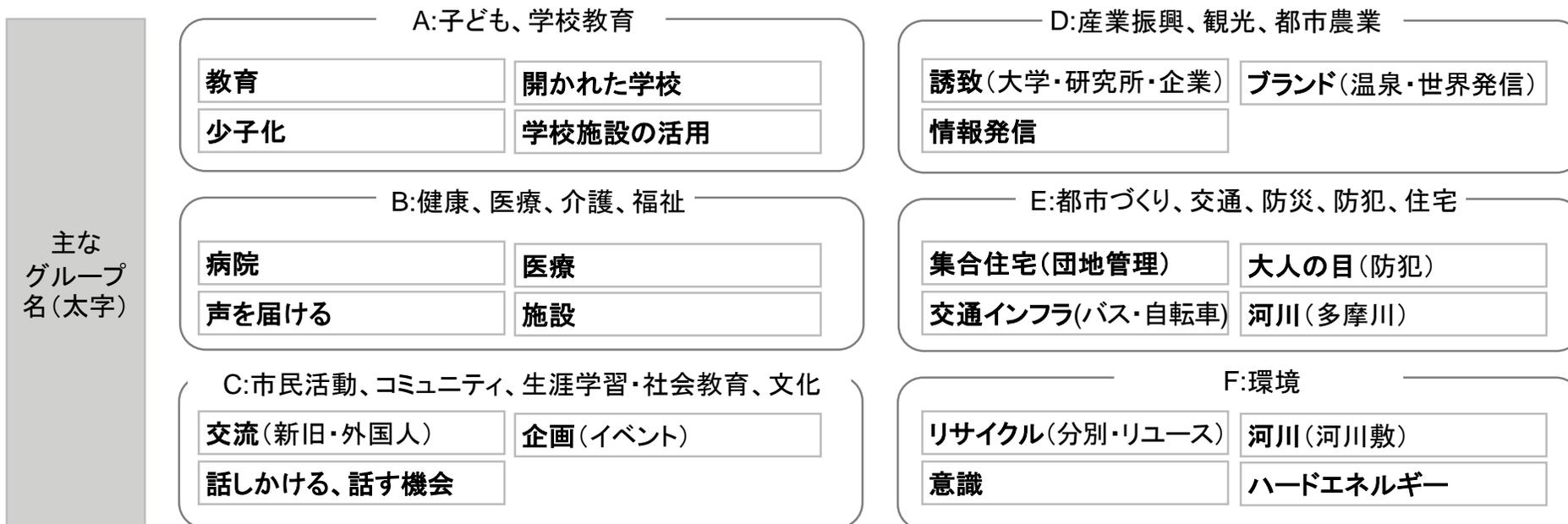
施策	主な意見
行財政 (22件)	住民意見が届かない(2件)
	財政が厳しくなる(2件)
情報発信 (9件)	情報発信が足りない(3件)
	多摩市のアピールが必要(2件)
	イベント開催を知らない(2件)

2. 市民意見

2-2. 多摩市が今後取り組むべきことに関する意見

第2ラウンド:これから取り組むべきこと【全体概要】

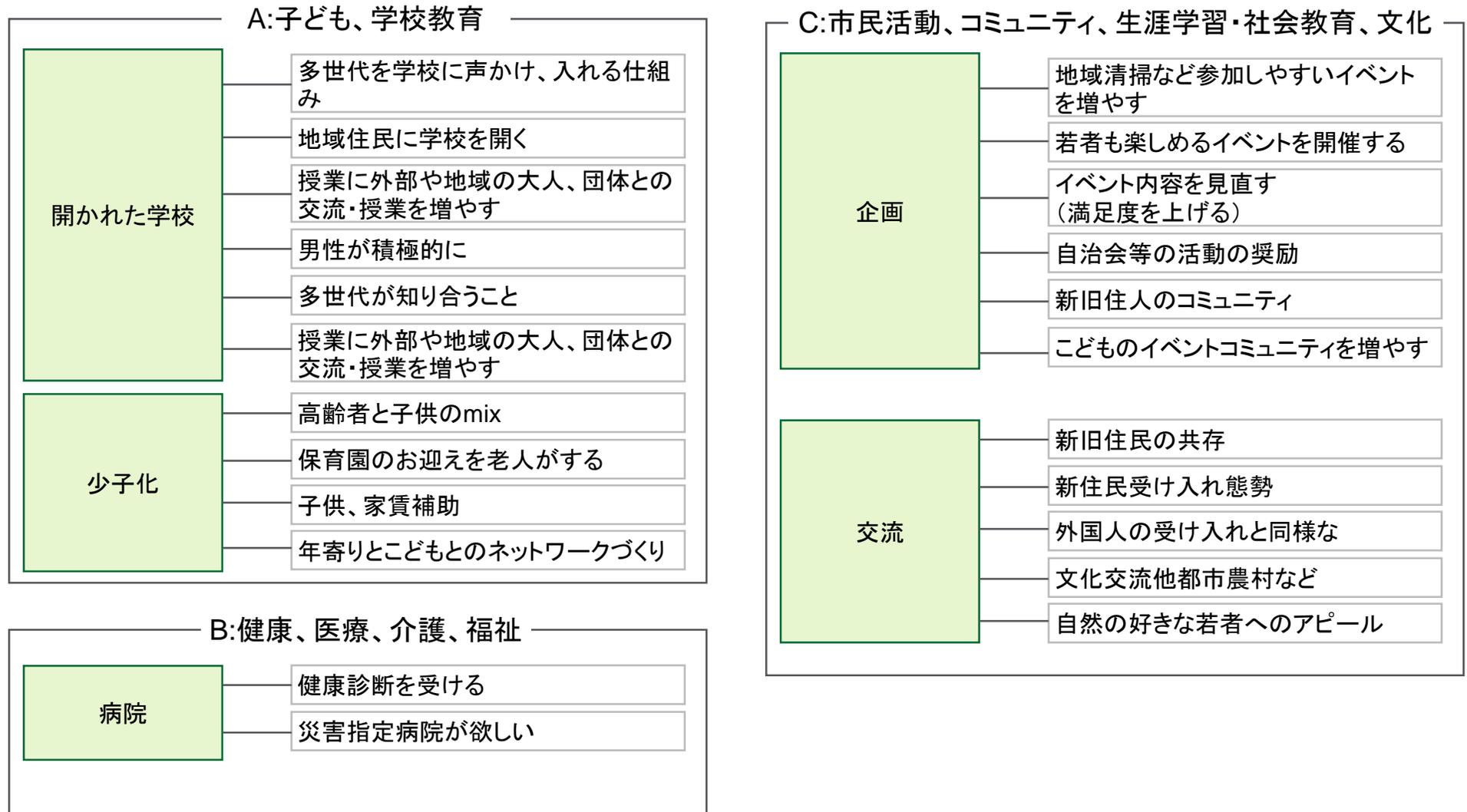
- 目的:
 - ・ 市民がこれから行うべきと考える取り組みをまとめ、今後の施策展開の参考とする
- 実施方法:
 - ・ 各自が思う“多摩市がこれから取り組むべきこと”を付箋に書き出し、各グループ内で発表しながら意見を共有しました
 - ・ 付箋に書いた後、各グループごとに書き出した“多摩市がこれから取り組むべきこと”を似た要素同士を整理して、グループ名を付けました
- ワーク結果(概要):
 - ・ 3回のワークショップを通して、計208件の意見が出されました ※第3ラウンドの模造紙に貼り替えたため、そちらで集計



2. 市民意見

2-2. 多摩市が今後取り組むべきことに関する意見

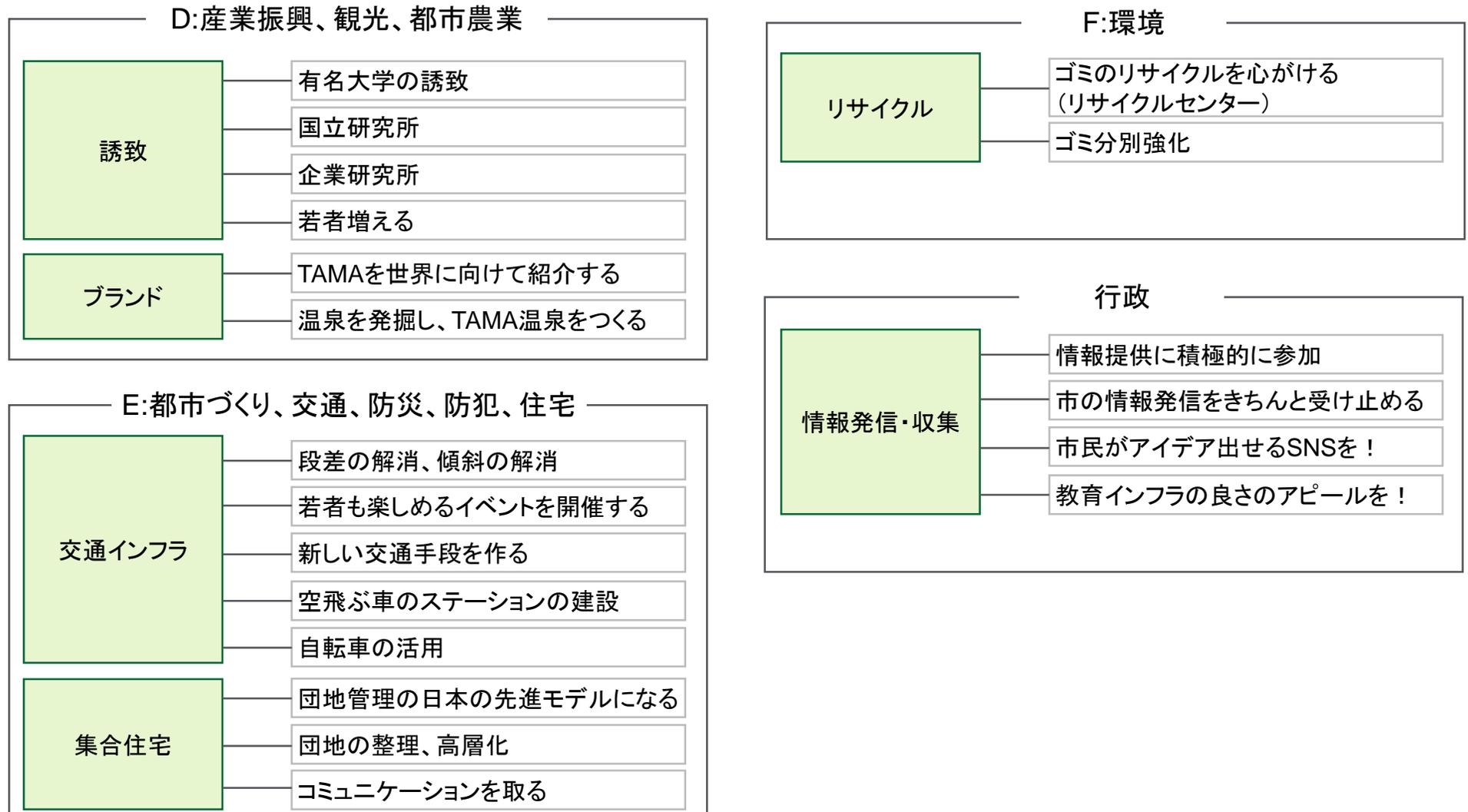
第2ラウンド: 目指す姿ごとの取り組むべきこと(グループング例)



2. 市民意見

2-2. 多摩市が今後取り組むべきことに関する意見

第2ラウンド: 目指す姿ごとの取り組むべきこと(グルーピング例)

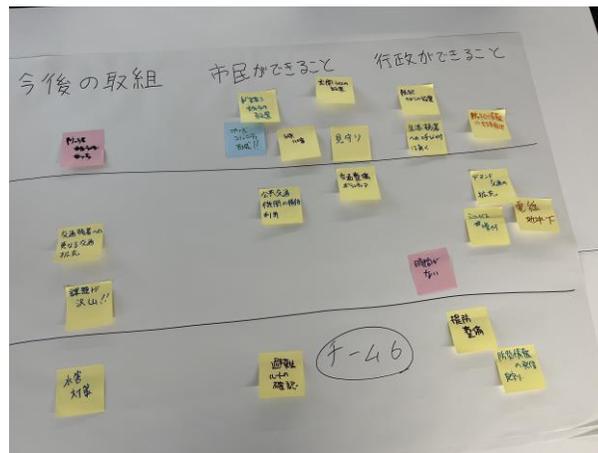
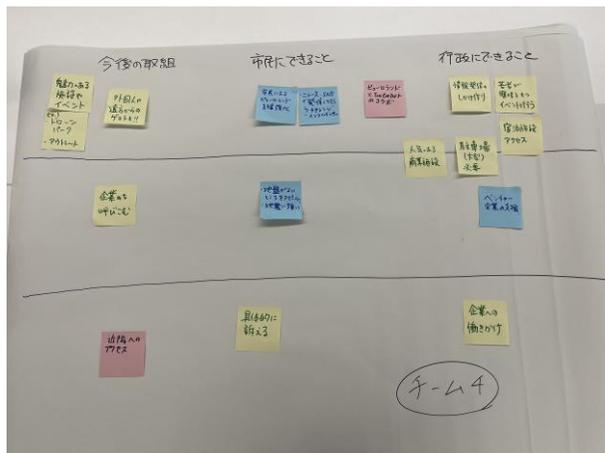


2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

第3ラウンド: 「わたしたちにできること」【全体概要】

- 目的:
 - ・ 「これから行うべきと考える取り組み」に対して、市民ができることを整理し、自分ごととして意識する
 - ・ 計画書において、市民ができることを整理する
- 実施方法:
- ワーク結果(概要):
 - ・ 各グループから3つの取組と、そのために市民ができること、行政ができることを書き出していただきました
 - ・ 今後の取組として、「情報発信」「DX」「イベント開催」といったキーワードが多くみられました



2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

A:子ども、学校教育分野のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
文化・スポーツ・交流 読書	ボランティア読み聞かせ	本の交換イベント	図書館の利用	古本の取引窓口
情報発信 イベントの宣伝	SNS発信	Twitterとかで発言する場	多摩市のちらし、新聞	目安箱
自然環境 資源 誰もが行ける ユニバーサル	花苗を植えるのを 子供たちと行う	草木の手入れ	夜道を明るくする	
都市づくり 市民活動・コミュニティ 多様な教育	市民の中のプロを 登用する	協力できる地域人材を発掘 (ボランティアではなく報酬を)	学校の施設の活用！ 教育施設の総合化	幼・保 学校を窓口に子育て 相談ができる場所
市民活動・コミュニティ 人材活用	先生との役割分担	大学との連携	プロフェッショナル の呼び込み	学童。オルタナティブス クール 児童/図書館
	活用する事に対する 人材の確保	大学生らが公園で子供た ちと遊ぶ機会を作る	ボランティアNPOの活用 連携(福祉との連携)	イベント協力をしやすいよ うな募集を

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

A:子ども、学校教育分野のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
<p>情報発信</p> <p>情報発信</p>	<p>若者への発信 (Instagram, Twitter)</p>	<p>お年寄りにもTwitter, Insta, Youtube</p>	<p>発信力(ネット)(子育て世 代が住みやすいと思える)</p>	<p>教育の魅力を発信！！</p>
<p>情報発信</p> <p>高齢者福祉</p> <p>開かれた学校</p>	<p>高齢者と子供 インクルーシブ</p>	<p>多世代が関心をもつ</p>	<p>子育て世代が増えている 他市の取り組みを参考に</p>	<p>メディアの呼び込み</p>
<p>市民活動・ コミュニティ</p> <p>学校以外の学びのあり方</p>	<p>小中に大学生等の活躍で きる機会を</p>	<p>高齢者や時間ある方が子 供と一緒にすごせる機会を</p>	<p>各学校内に個性特性を生か すフリースクール、クラスを</p>	<p>相互アクセスしやすいネット ワーク(HP, SNS, メルマガ)</p>
<p>産業</p> <p>企業から子ども への支援活用</p>	<p>子どもが縛られずのびのび 遊べるプレーパークを</p>	<p>不登校でも出て引け目に 感じない居場所を増やす</p>	<p>市民保護者子どもの声を 拾う言いやすい仕組み</p>	<p>公立学校以外の家庭の金 銭的負担を減らす</p>
<p>多摩市で子育てしたいと 思う人を増やす</p>	<p>企業が「来たい」と思う制 度作り</p>	<p>市キャンペーンに対して 意見を出しやすい</p>	<p>全小中学校でオンライン授 業もできるように整備</p>	<p>フリースクール経営を援助し、 家庭の金銭的負担を減らす</p>
	<p>空家空き店舗を子供・多 世代交流の場に</p>	<p>企業が「来たい」と思う制 度作り</p>	<p>開かれた風通しの良い多 摩市キャンペーンを民間に</p>	<p>市民に開かれたスペース をつくれれば市より支援あり</p>
	<p>交流できる契機</p>	<p>授業で放課後子ども教室 で、学童で教室で開催する</p>	<p>予算だけコーディネート</p>	<p>企業との連携をしていく、 楽しく</p>

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

A:子ども、学校教育分野のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組

情報発信

情報発信、もっと簡単に情報を得られるようにする

市民に出来ること

子育て情報の
インフルエンサー

各保育園・小学校にインフ
ルエンサーを作る

ネット上で市民同士で相談
できる場を作る

行政に出来ること

個別支援プランを作成

受け手が受け取りやすく情
報発信

子育てを楽にするための
パスファインダー

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

B:健康、医療、介護、福祉のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
お年寄りの助け 助け合いのシステム	市民活動 横の連携(縦横 のネットワーク)	NPOと人民の連携強化	能力にそった手助けがで きる仕組みづくり	
	買い物の手助け	かいものシルバー人材セ ンター		
情報発信	使い方教室に参加する	「お助け隊」に登録して助 け合う	HPを工夫して市民の 声を拾う	タマ公報にQRコードを多く
	たま広報みてます	シルバー人材をうまく使う	使用の検索の方法記入	どうい事があったか知らせ るとハードル低くなるか？
病院関係	マイナンバーの取得		日大病院駐車場代補助	診療所の移設費用の補助
市民活動・ コミュニティ 子どもと老人の共存	自治会などを活用したイベ ントへの自由参加	高齢者の運動会	団地の空室に介護施設と 保育園の施設	老人ホームと保育園の併 設
	祭りの企画	団地同士の交流、子供会	電動貸自転車 拠点多く	企画の支援
住宅 団地間の交流	地域を超えた交流	コミュニティセンターの連携	コミュニティバスの充実	
正しい知識を持つ	市民で気軽に活動	現状を知る機会	小学生など若い世代 高齢 者が変わる会を小学校で	若者の意識を変えるため に講習会などを開催
	地域の関わり(マンション 内隣の家の人)	他の年代の方との交流	各世代に必要・身近な情 報が欲しい	意見を言いやすい環境

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

B:健康、医療、介護、福祉のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
障害者・高齢者一般の人 全員が楽しく交流できるイ ベント	積極的に参加する	イベント主催者からわかり やすく発信する	ヘルプカードもっと知って ほしい	魅力的な児童館づくりだれ でも利用しやすく
	知り合いを誘う		障害年齢などに関係なく誰 でも参加できるイベント開催	
情報発信 啓蒙	意見の共有	様々なコミュニティに積極 的に参加	SNS発信、魅力の発信	匿名性
	自ら発信する機会		外出が難しい人も参加でき る	市のニュースをより市民に 伝わるように
整備・環境を整える	現状を知る	意見を出す	現状のヒアリング	法・条例整備
	問題意識を持つ	ルールの厳守	ルールを作る	
情報発信 市報を活用しやすくする	サークル参加者が発信す る		活動内容等が一覧でわか りやすく発信してほしい	HP等ですぐ検索してわか るようにしてほしい
			簡単にサークルをやりたい 人が始められるように	
教育 子ども達への教育	家庭内で障害について会 話する		学校内で交流や教育をし てほしい	教育者への教育
			障害者の方から発信でき る機会を増やす	

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

C:市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
イベント増やす	参加、自主的に企画	自治会の協力	あらゆる手段で参加呼びかける	季節に合わせたイベント計画
	昔からの人も歩み寄る	できる人が教える仕組み	続ける、呼びかける	
情報発信 メリット発信・ネット活用	多方面への発信のためのSNS	お年寄りにむけて広報紙とSNS併用	スマホアプリ使う	インスタ発信、市役所の人も見る
	LINE活用		見られる場を増やす	
世代間を超えた交流	ミニコミ紙を利用してPR,呼びかけ	これからも参加する	場所の提供の取り組み	市内の大学生にスキル提供
	各コミュニティセンターの催しに参加する			
スキル・人間関係の活用	自分のスキルを生かして若い人に情報提供		退職者のスキルを登録しておく	
情報共有	新住民なので、情報を知る		苦情の窓口相談をしやすいとする	
情報発信 情報発信	SNSを使った広報	イベントに参加する	FM放送	
	フリーマーケットでの声かけ			

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

C:市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
住宅 空家・シャッター店舗 を利用！	店として使える建物を増やす	小さなイベント開催	空屋の活用、賃貸	家主へのPR
	元からある施設を活性化させる	使われない建物、場所を使いコミュニティ活性化！	商業地域の規制	補助金
市外の人を呼ぶ	市民がWSを開催する	市民エキスパートを活用する	スポーツイベント(ウォーク、ラン、バイク)運動会	
情報発信 年代別にイベント ・コミュニケーション企画	参加する	企業のSNSに書き込む	SNSやイベントで意見を募る	
情報発信 情報発信	情報発信 ZOOM会議	ワークショップに参加する	情報発信 企業、団体との協力	
都市づくり 公園施設整備	利用する	ボランティア	意見をきく場を設ける	コミュニケーションの場所の提供
	企業との団体コラボ	街の進化を動画にする	DogRun	

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

D:産業振興、観光、都市農業のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
映えスポットを作る	映えスポットの発見、発信	イルミネーション見ながら屋台	設置費用の補助制度	
大型イベント開催	多摩で外食する 商店主からのアイデア	多摩で買い物する 市民ボランティア	企業とタイアップ企画 しまじろうに頑張ってもらう	イベント開催
情報発信 魅力あるコンテンツ誘致	市民からの発信 「必要である」という意識の醸成	多摩の魅力のある店の発信	市民への情報発信	大手ディベロッパーとの交渉
情報発信 魅力ある施設やイベント	市民によるピューロランドへの支援強化 ピューロランドとYoutuberのコラボ	ニュース、SNSで発信してもらおうチャレンジ	情報発信の仕掛けづくり 宿泊施設へのアクセス	若者が興味を持つイベントづくり 人気のある商業施設
交通・道路 近隣へのアクセス	具体的に訴える		企業の働きかけ	
防災 企業を呼び込む	地盤が良いところをアピール		ベンチャー企業の支援	

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

D:産業振興、観光、都市農業のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
都市づくり 駅周辺	考え方を変える 土地開発に協力する	周りの保全 近くの開発	民間に駅前の開発、駅回り再開発 駅・職場の距離	土地わたす
新興企業誘致	誘致する必要性は何か？ 意見具申する 小型事務所店舗を提供	発信	民間からプロモ SNSを活用し多摩市の魅力を発信する	税制優遇・住民税優遇、 長期支援 工業・農業・ベンチャー支援
都市づくり 公園・建物のPR	若い方と年配者との話し合いに必要なのはどれか？ 意見をまとめる	若手→SNSインスタ、ベテラン→地域のまとめ	バックアップ	団地、ホテル(体験)

2. 市民意見

2-3. 「わたしたちにできること」に関する意見

E:都市づくり、交通、防災、防犯、住宅のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
防犯	ドアホンのカメラ設置、 玄関ライトの設置	地域コミュニティ形成	防犯カメラ設置	生活弱者への呼びかけ、 把握
	見守り、子供110番	交通整備ボランティア	防犯情報の結果報告	
交通弱者へのさらなる 交通拡充	公共交通機関の積極利用		デマンド交通の拡充	ミニバス増やす
			電線地中化	
水害対策	避難ルートの確認		堤防整備	防災情報の発信
災害への備え	水の事故啓発	家庭での備蓄	乞田川に放水路	立川断層の情報
	コミュニティのつながり	避難経路の話し合い	避難場所増設	ハザードマップ
DX移行 情報発信	スマホ講座	デジタルへの苦手意識を 低くする	市のWEB情報が長い	発信力、プッシュ型の情報 発信
			市への提出物の郵送撲滅	小学生以上向けの子育て 情報

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

E:都市づくり、交通、防災、防犯、住宅のテーブル

分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
まちづくり、インフラ維持	公園の清掃	ボランティア活動	自治体活動	通学路、避難路の整備
情報発信 情報の発信 (多摩市の現活動)	市の広報をちゃんと読む 多摩市の広報物に投稿する	市民活動の参加	市民の使うSNSを作って欲しい 多摩市HPの刷新	SNSに市民の署名インフラをつくる ボランティア参加者に市民でつかえるクーポン券
市民活動・コミュニティ 集合住宅間の連携	課題意識の共有 管理組合への積極参加	コミュニケーションの活性化	集合住宅管理の協議会設立 固定資産税頼りの行政改革	戸建ての住民の町会とも連携を
産業 公的先進的施設誘致	具体的ニーズの明確化 公的な必要性 誘致活動に署名する	仕事課題への理解 市民農園での農業	映画祭のアピール 国・東京都における多摩の位置付け明確化	現状のアミューズメントの強化 農業大学の再誘致
聖蹟の駅周辺の再開発	魅力をアピールして人を呼び込む イベントを企画に盛り上げ	市民からも京王帝都への協力要請 駅前のお店をもっと利用する	京王本社に建て替えシボリックなものに 多摩ニュータウン→多摩ブランド化	容積率。高度地区の改定 聖蹟桜ヶ丘の駅の三層化(電車、人、車)

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

E:都市づくり、交通、防災、防犯、住宅のテーブル

 分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
<p>バリアフリーの促進</p>	<p>問題のある場所の共有</p>	<p>歩行者への配慮</p>	<p>企業への協力依頼</p>	<p>歩道の不備(狭い)などの把握</p>
<p>市民活動・コミュニティ 新旧住民の交流促進</p>	<p>どこにどう必要なのか市民に理解してもらうアピール</p>	<p>オープンデータやアプリの活用</p>	<p>基準作り</p>	
	<p>集会などへの参加、生活ルールの共有</p>	<p>ボランティア学生の活用</p>	<p>役員(自治会)への報酬</p>	<p>大規模イベント集会のできるドーム施設を作る</p>
	<p>他地域の事例を参考にする</p>	<p>マナー・トラブル事例</p>	<p>ボランティア参加への協力 託児施設</p>	<p>多摩ニュータウンのニューはもう古いので名称変更を</p>

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

F:環境のテーブル

 分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
意識、自分ごと	クレームではなく意見を言う	趣味を生かした参加	デジタル活用した市民参加の機会創出	市民サイトへの紹介
	タブレットを生かす			
ソーラーパネル設置、ルーフスペース活用	メンテナンスに参加	市民NPOの立ち上げ	NPO立ち上げサポート	機会の増加、プラットフォームづくり
	上の世代の知見を引き継ぐ			
文化・スポーツ・交流 歴史、文化面のアプローチ	小学校での学びを続ける	歴史展示等への参加	パルテノンを拠点とする	博物館、美術館づくり
	知識を生活に落とし込む機会		学びの機会復活	
緑地の活用	家庭菜園を取り入れる	花壇を作ろう！	畑や林を保護する(税金を減らす)	緑地(畑etc)の保護政策
			市民農園の活用(増加)	
教育 触れ合える場所の整備、体験教育、教育に自然と触れ合う時間を	魚とり、虫とり草花での遊び子どもとの触れ合いを	枯れ葉掃除→腐葉土づくり(高齢者と共に)	森の中や川のそばに交流の場を作る	イベント・コラボのプロデュース
	テーブルベンチを置く	料理→キャンプ(体験学習)	実食する、水田・畑を自分で作る	今の自然の利活用、場の利活用

2. 市民意見

2-3. 将来都市像とその実現のための取組に関する意見

F:環境のテーブル

 分野横断的な
取り組み

今後の取組	市民に出来ること		行政に出来ること	
ゴミを減らす	ゴミ減量 古着→バザー、 古布→リサイクル	過剰に買わない (ロスを減らす)	生ゴミのリサイクル(場と人 の提供)	自然、農地利用を学校教育 へ 作物を作る子供教育
	地産地消	バザーの活用に出す	コンポストの補助金	

2. 市民意見

2-4. グラフィックレコード

グラフィックレコード内容【第1日目ベルブ永山】

A 子ども、学校教育

住みたいまちにする
行きたくなる学校を作る

B 健康・医療・介護・福祉

助けあうとりくみ”人”の活用

C 市民活動、コミュニティ、
生涯学習・社会教育、文化

使われていない場の活用

D 産業振興、観光、都市農業

駅近振興！



2. 市民意見

2-4. グラフィックレコード

グラフィックレコード内容【第2日目 関戸公民館】

A 子ども、学校教育

IT教育に力を入れる

E都市づくり、交通、
防災、防犯、住宅

情報発信、集合住宅の連携、誘致

B健康・医療・介護・福祉

困っている人のお困りごとを
正しくとらえて広めていく

F環境

緑地活用と体験教育



2. 市民意見

2-4. グラフィックレコード

グラフィックレコード内容【第3日目パルテノン多摩】

C市民活動、コミュニティ、生涯学習・社会教育、文化

世代を超えた交流の場を増やすイベントふやす、発信する一人称で！

EE都市づくり、交通、防災、防災、防犯、住宅

防災 特に“川” 備え対策つなげる考える安心と安全

D産業振興、観光、都市農業

外からの呼びこみ、今あるものの活性化情報発信 映えスポットづくり

F環境

“自分達”の環境意識を持つ市民が当事者意識を



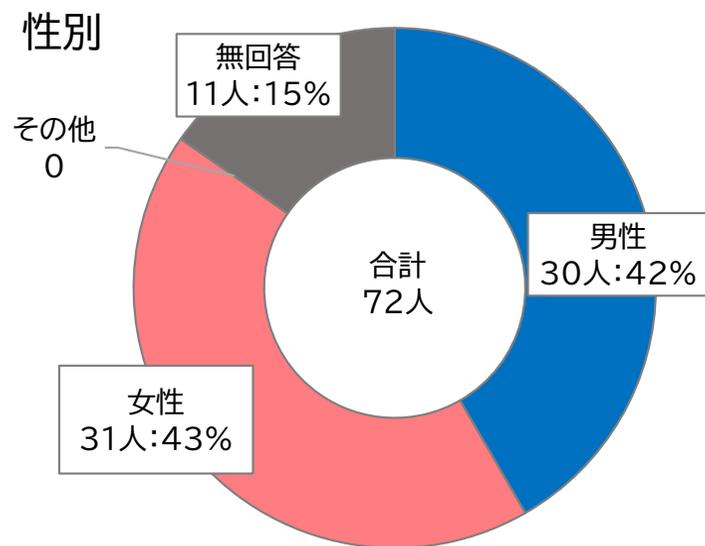
3. 参加者アンケートの結果

3. 参加者アンケートの結果 属性

- 参加者73名のうち、72名の方にアンケートに回答いただきました(白紙除く)。

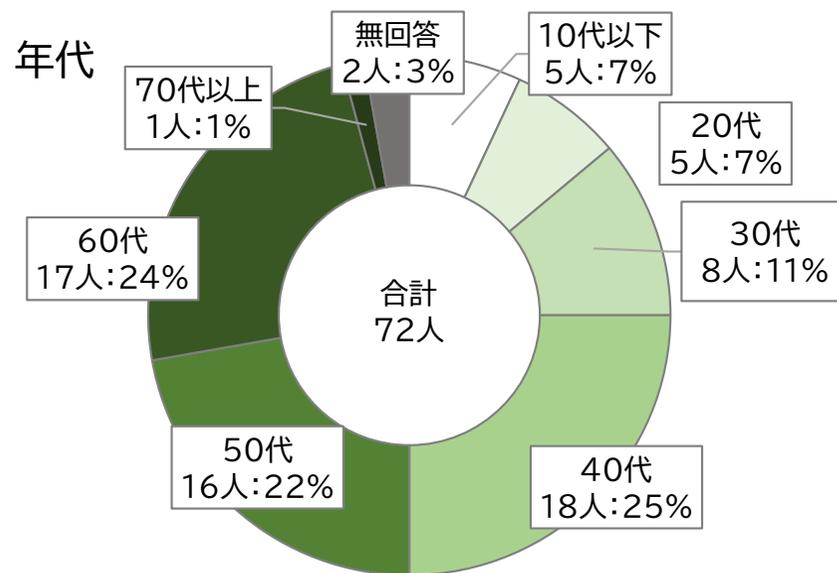
性別

- 性別に偏りなく、参加していただきました



年代

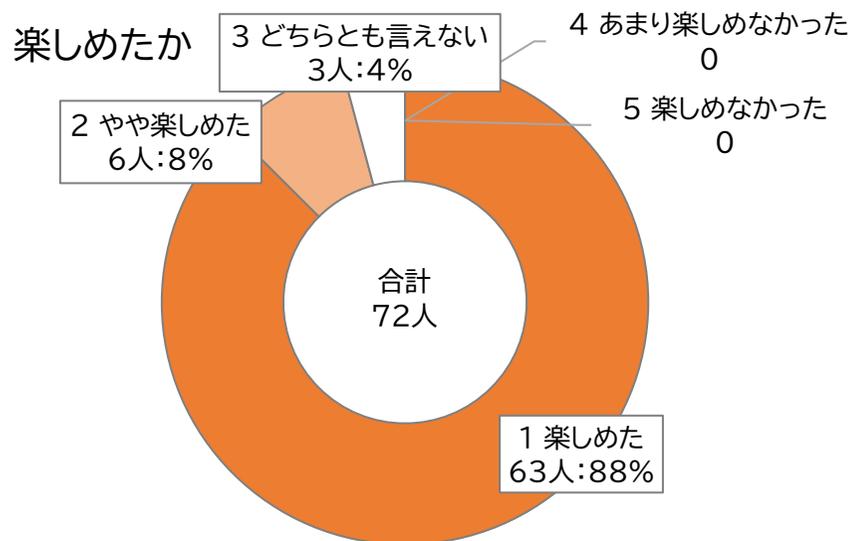
- 40代以上の方の割合が比較的高いですが、30代以下の方にも参加していただきました



3. 参加者アンケートの結果 満足度(1/2)

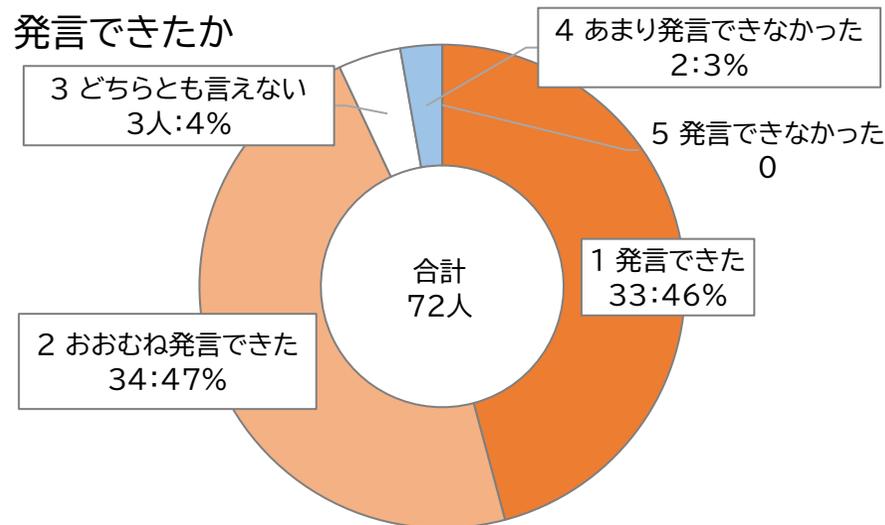
2.1 本日のワークショップはお楽しみいただけましたか

- ワークショップについて、9割以上の方が「楽しめた」または「やや楽しめた」と回答しています



2.2 本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか

- ご自分の意見について、9割以上の方が「発言できた」または「おおむね発言できた」と回答しています

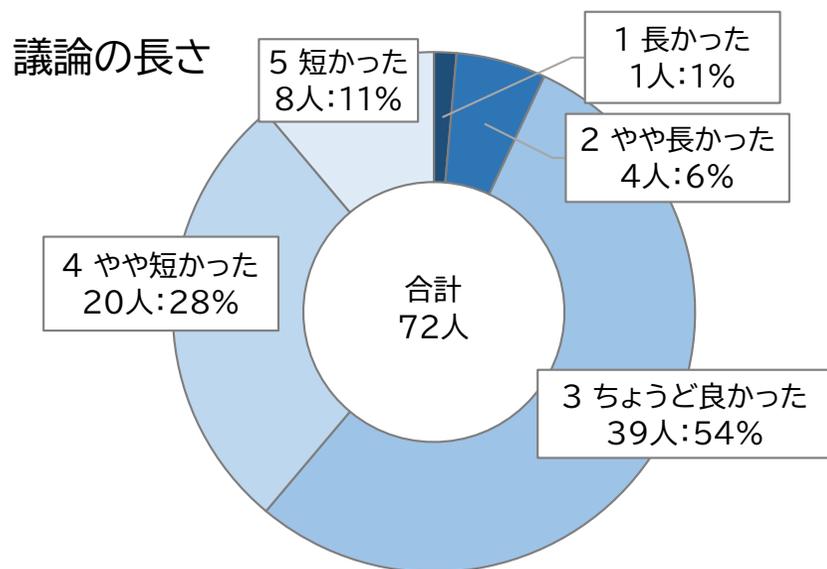


3. 参加者アンケートの結果 満足度(2/2)

2.3 本日のワークショップの話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか

- ワークショップの時間(長さ)について、約5割の方が「ちょうど良かった」、約4割の方が「やや短かった」または「短かった」と回答しています

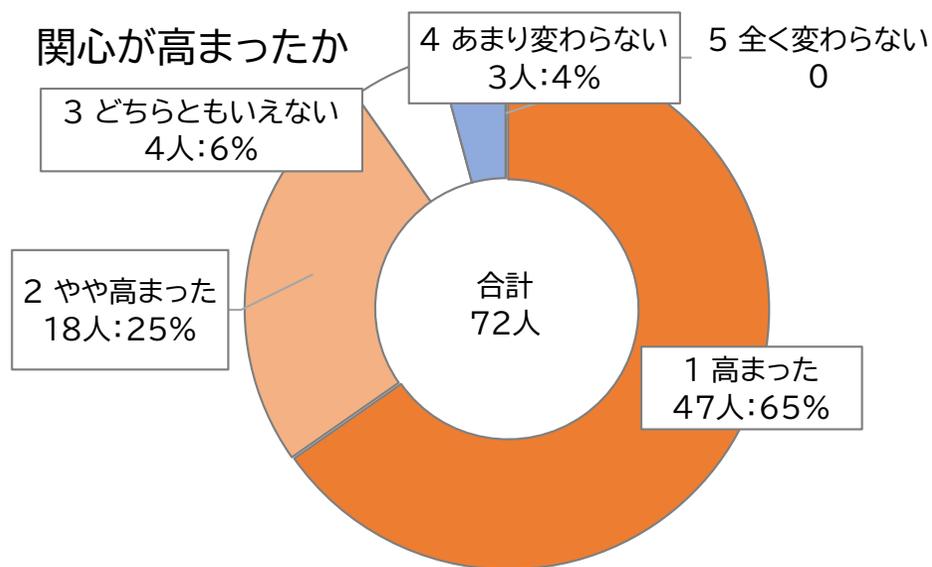
(前回開催の2時間から2時間30分に時間を拡大して開催しています)



3. 参加者アンケートの結果 実施成果

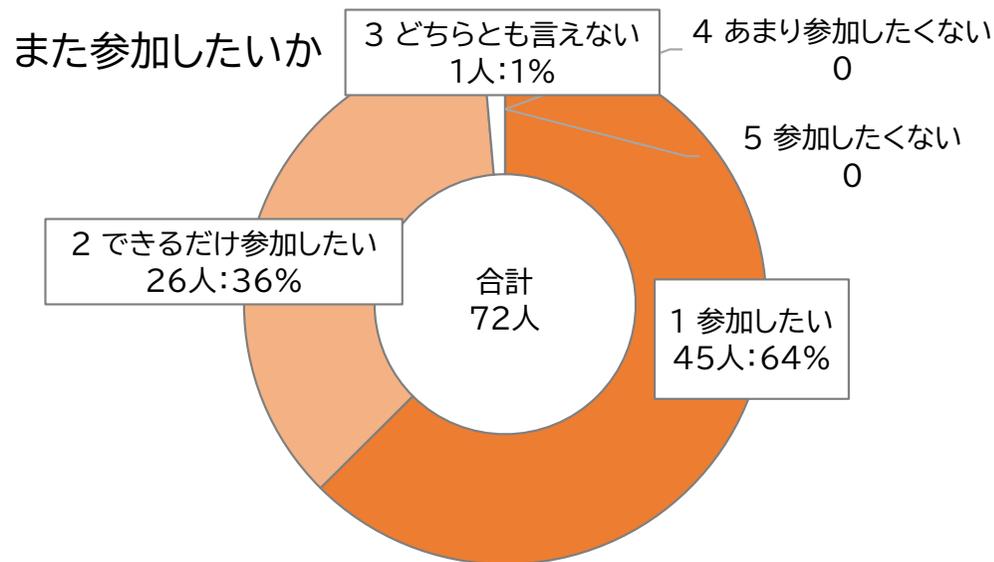
2.4 本日ご参加いただいたことで、多摩市のまちづくりに対する関心が高まりましたか

- 多摩市のまちづくりに対する関心について、9割以上の方が「高まった」または「やや高まった」と回答しています



2.5 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか

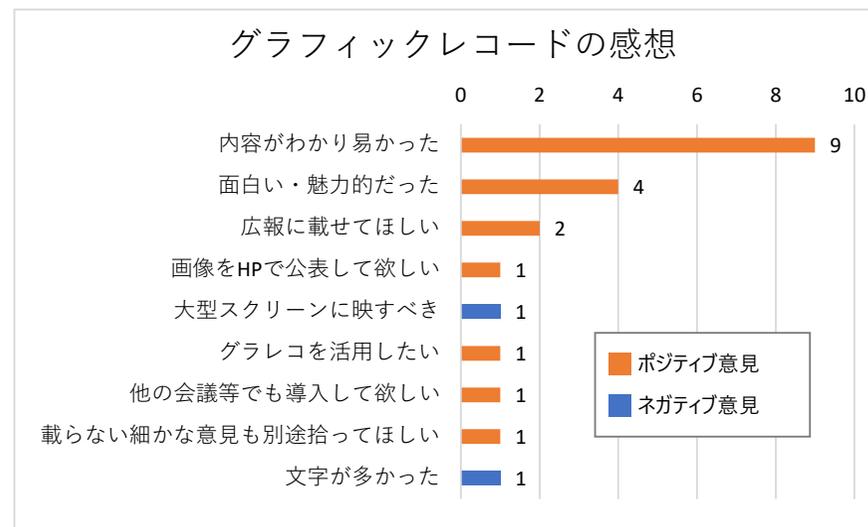
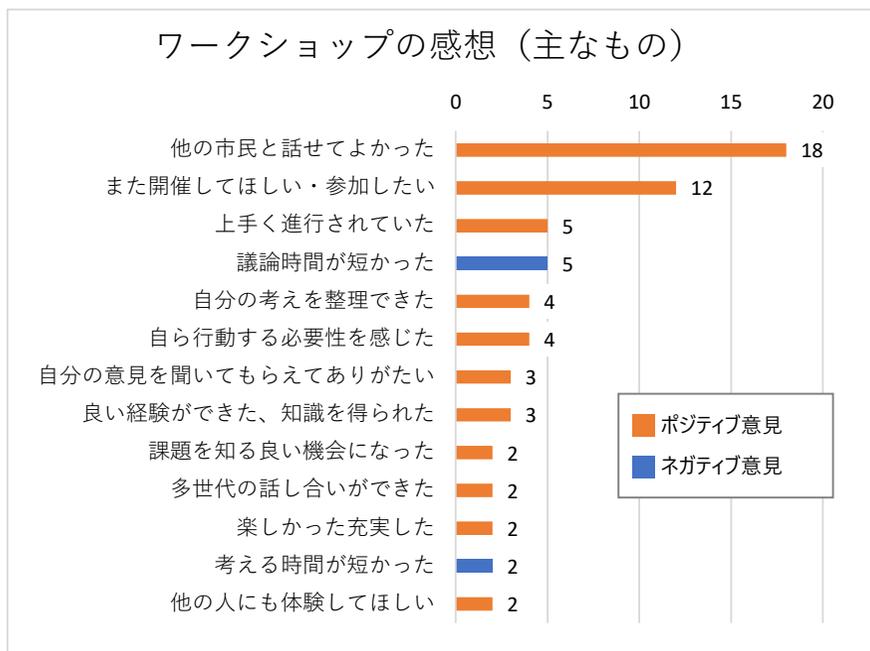
- 市民参画の機会について、約9割の方が「参加したい」または「できるだけ参加したい」と回答しています



3. 参加者アンケートの結果 その他のご感想・ご意見

本日のワークショップに対して、気づいたことや感じたことがあればお聞かせください

- ワークショップの感想として、さまざまな世代や異なる地域に住む多摩市民の方と交流できたことに対して、良かった・楽しかったという感想が多く寄せられ、また参加したいとの意見が多かった一方、もっと議論や考える時間がほしい、というご意見もいただきました。
- また、今回取り入れたグラフィックレコードに対して、内容がわかりやすかった、面白くて魅力的という意見が多く、広報やHPなどで共有して欲しい、グラフィックレコードを取り入れてほしい・取り入れたいという意見がありました。
- その他に、施策に関する要望・希望として、「恵まれた自然を活かしてほしい」「高齢者と若者の繋がりが欲しい」「子どもが遊べる商業施設が欲しい」「飲食店がつぶれないようにしてほしい」がありました。



4. 当日の様子

4. 当日の様子 グループワークの様子



4. 当日の様子 発表・模造紙の様子



4. 当日の様子 グラフィックレコード

